

木部

公共仕様No.
DNT-新設・11-1-02

18章11節：ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
外部用ウレタンクリヤー

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JASS 18 M-301 1液形油変性ポリウレタンワニス	外部用ウレタンクリヤー	—	塗料用シンナー

塗装仕様

表18.2.1 木部の素地ごしらえ【B種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1	汚れ、付着物除去	—		木部を傷つけないように除去し、油類は、溶剤等でふき取る。
2	やに処理	—		やには、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。
3	研磨紙ざり	研磨紙P120～220		かなな目、逆目、けば等を研磨する。

(注) ラワン、しおじ等導管の深いもの場合は、必要に応じて、工程2のちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。

表18.11.1 ウレタン樹脂ワニス塗り【B種】

工程		商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
1	下塗り	外部用ウレタン クリアー	透明	—	10～15	刷毛 ローラー	0.05	8時間以上 1ヶ月以内
					15～20	スプレー		
2	研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
3	上塗り	外部用ウレタン クリアー	透明	—	10～15	刷毛 ローラー	0.05	—
					15～20	スプレー		

(注) 1.素地ごしらえの種別は、塗料その他の欄による。
2.一般木部及びフローリングは、1液形とする。
3.JASS 18 M-301は、日本建築学会材料規格である。

18.2.2 木部の素地ごしらえ

- (a)木部の素地ごしらえは表18.2.1により、種別は特記による。特記がなければ、不透明塗料塗りの場合はA種、透明塗料塗りの場合はB種とする。
- (b)透明塗料塗りの素地ごしらえは、必要に応じて、表18.2.1の工程を行ったのち、次の工程を行う。
- (1)着色顔料を用いて着色兼用目止めをする場合は、はけ、へら等を用いて、着色顔料が塗面の木目に十分充填するように塗り付け、へら、乾いた布等で、色が均一になるように余分な顔料をきれいにふき取る。
- (2)着色剤を用いて着色する場合は、はけ等で色むらの出ないように塗り、塗り面の状態を見計らい、乾いた布でふき取って、色が均一になるようにする。
- (3)素地面に、仕上げに支障のあるおそれがある甚だしい色むら、汚れ、変色等がある場合は、漂白剤を用いて修正したのち、水ぶき等により漂白剤を除去し、十分乾燥させる。

18.11.2 ウレタン樹脂ワニス塗り

ウレタン樹脂ワニス塗りは表18.11.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
- * 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。